

講演タイトル: 金属-フェノキシルラジカル錯体における最近の展開

茨城大学

理学部理学科化学コース

島崎 優一 先生

日時: 10月22日 (金) 15:15-16:30

場所: 自然系学系棟B215



講演概要:

フェノラート配位子はnon-innocent配位子として良く知られている。生体系では一級アルコールをアルデヒドに酸化するガラクトースオキシダーゼに見られるように、単核銅イオンに配位したフェノラート配位子が酸化され、比較的安定な活性種である銅(II)-フェノキシルラジカル種を生成することが知られている。一方、いくつかの金属-フェノラート錯体の一電子酸化体では金属イオンが酸化された高原子価種フェノラート錯体の生成が知られており、錯体全体ではフェノキシルラジカル錯体と同じ酸化数であることから、当研究室ではこれら二つの詳細な電子状態の違いについて検討してきた。今回は金属-フェノラート錯体の一電子酸化体について、特に最近得られた高原子価種フェノラート錯体とフェノキシルラジカル種の性質の違いならびにその相互変換について報告する。本講演会は無機化学特論の一部です。履修予定者は必ず聴講して下さい。

連絡先: 小島隆彦 (内線4323)